

1. 安全に関する項目～ご使用前に必ずお読みください～

このたびはアナログ・マルチテスタCP-7D型をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前にはこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。そして常にご覧いただけるように製品と一緒にして大切に保管してください。

本文中の“△警告”の記載事項は、やけどや感電などの人身事故防止のため必ず*お守りください。

1-1 警告マークなどの記号説明

本器および『取扱説明書』に使用されている記号と意味について

- △：安全に使用するための特に重要な事項を示します。
- 警告文はやけどや感電などの人身事故を防止するためのものです。
 - 注意文は本器を壊すおそれのあるお取り扱いについての注意文です。

- ≡：直流(DC) ⊖：ヒューズ
～：交流(AC) ⊕：プラス
Ω：抵抗 ⊖：マイナス

1-2 安全使用のための警告文

△ 警告

以下の項目は、やけどや感電などの人身事故を防止するためのものです。
本器をご使用する際には必ず*お守りください。

- 1 -

1-3 最大過負荷保護入力値(入力端子は⊕・⊖)

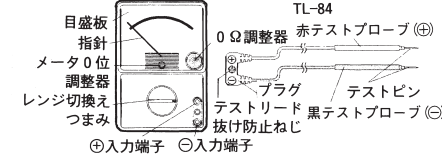
レンジ(ファンクション)	最大過負荷保護入力値
DCV 50/250/500 ACV 50/250/500	DC 600 V / AC 600 V または、Peak 840 V
DCV 2.5/10 ACV 10	DC 50 V / AC 50 V または、Peak 70 V
DCV 0.25 DCmA 0.25/25/500 Ωおよび ≡[5V]	*DC 1.5 V / AC 1.5 V または、Peak 2 V *DC 5 V / AC 5 V または、Peak 7 V

注意：①AC電圧はサイン波の実効値で規定。*印は3秒以内
②内蔵のヒューズは、安全を目的に挿入したもので、回路部品の保護はしていません。

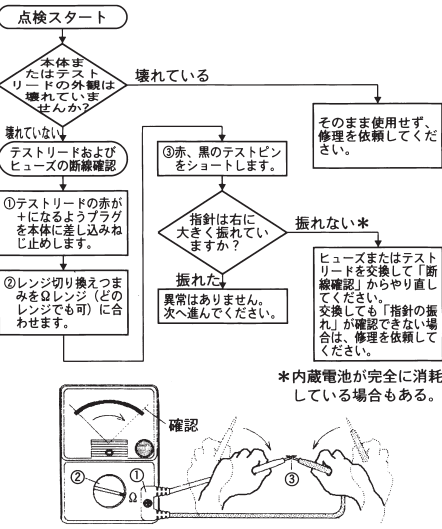
2. 用途と特長

- 用 途：本器は小容量電路の測定用に設計された、アナログ・マルチテスタです。小型の通信機器や家電製品、電灯線電圧や各種電池の測定などに威力を発揮します。
- 特 長：・手のひらにおさまるコンパクトサイズ
・ヒューズ、ダイオードによる回路保護
・付属ねじによりテストリードの抜けを防止

3. 各部の名称



- 3 -



6-2 レンジの設定方法

電圧(V)、電流(A)測定時の最適なレンジ
6 Vを測定する場合は12 Vレンジ、15 Vを測定する場合は30 Vレンジのように測定する値よりも大きく、かつ近いレンジを選びます。測定値の見当がつかない場合は、最大レンジ(500 V)で測定してみます。

- 7 -

6-4-3 低周波出力(dB) 最大レンジ 36 dB

- 1)測定対象
ラジオやアンプなどの可聴周波の信号出力を測ります。
- 2)測定範囲
-20～36 dB
- 3)測定方法
交流電圧と同じ方法で行います。
- 4)指示の読み取り目盛
dB目盛
- *本器のdB目盛はACV 10 Vの目盛と対応して、0 dB＝0.775 Vとして目盛られています。従ってインピーダンス600 Ωの回路の場合のみ0 dB＝1 mWとしてのdB値を求めることができます。

6-5 直流電流(DCmA≡)測定 最大レンジ DC 500 mA

△ 警告

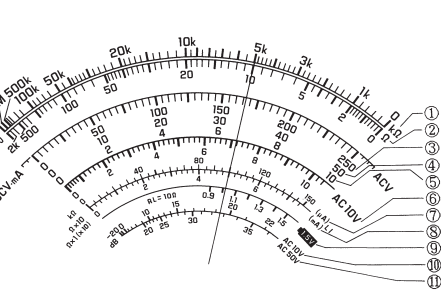
1. 入力端子には外部よりの電圧を絶対に加えないこと。
2. 必ず負荷を通して直列に接続すること。
- 正しい接続 電源 ×危険な接続
3. 入力端子に最大定格電流を超える入力を加えないこと。

- 11 -

1. 6 kVAを超える電力ラインでは使用しないこと。
2. AC 33 Vrms (46.7 Vpeak)またはDC 70 V以上の電圧は人体に危険なため注意すること。
3. 最大定格入力値を超える信号は入力しないこと。
4. 最大過負荷入力値を超えるおそれがあるため、誘起電圧、サージ電圧の発生する(モータなど)ラインの測定はしないこと。
5. 本体またはテストリードが傷んでいたり、壊れている場合は使用しないこと。
6. ケースをはずした状態では使用しないこと。
7. ヒューズは必ず指定定格および仕様のものを使用すること。ヒューズの代用品を用いたり、短絡することは絶対にしないこと。
8. 測定の際はテストリードのテストピンを持ったり、触れたりしないこと。
9. 測定中は他のファンクションまたは他のレンジに切り換えないこと。
10. 測定ごとのレンジおよびファンクション確認を確実にすること。
11. 本器または手が水などでぬれた状態での使用はしないこと。
12. テストリードは指定タイプのものを使用すること。
13. 内蔵電池および内蔵ヒューズ交換を除く修理・改造は行わないこと。
14. 年1回以上の点検は必ず行うこと。
15. 屋内で使用するこ

- 2 -

4. 指示の読み取り方



- 4 -



CP-7D

マルチテスタ MULTITESTER

取扱説明書 INSTRUCTION MANUAL

番号	使用レンジ	読み取り倍率
④	DCV 50	× 1
	DCV 500	× 10
	ACV 50	× 1
	ACV 500	× 10
	DCmA 500	× 10
⑤	DCV 10	× 1
⑥	ACV 10	× 1
⑦	LI(Ω kΩ)	× 1
⑧	LI(Ω × 1)	× 10
⑧	LI(Ω × 10)	× 1
⑨	≡[5V]	× 1
⑩	dB(ACV 10)	× 1
⑪	dB(ACV 50)	× 1

4-1 指示の読み取り例(前図による)

ファンクション(レンジ)	目盛番号	読み取り方	読み取り結果
DC 10 V	⑥	目盛数値×1	6.67[V]
AC 250 V	③	目盛数値×1	166[V]
LI(Ω × 1)	⑧	目盛数値×10	50[mA]
dB(ACV 10)	⑩	目盛数値×1	19.3[dB]

※注意：指針は真上から見るようにしてください。

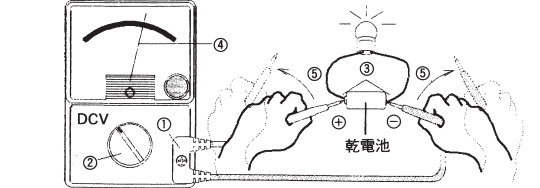
5. 機能説明

- レンジ切り換えつまみ
このつまみを回すと、レンジおよびファンクションが切り換わります。

- 5 -

6-4-1 直流電圧(DCV≡) 最大レンジ DC 500 V

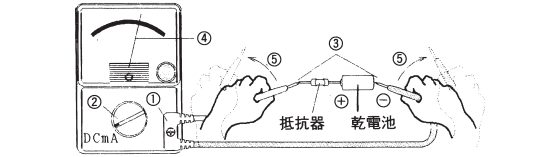
- 1)測定対象
電池や直流回路の電圧を測ります。
- 2)測定レンジ
0.25/2.5/10/50/250/500 Vまでの6レンジ
- 3)測定方法
①テストリードのプラグが本器にねじ止めされていることを確認します。(赤コードが上方のプラス端子側)
②レンジ切り換えつまみでDCVの最適なレンジに合わせます。
③被測定回路のマイナス電位側に黒のテストピンを、プラス電位側に赤のテストピンを負荷と並列に接触させます。
④DCV目盛にて指針の指示を読み取ります。
⑤測定後は被測定物からテストピンをはずします。



※電池の電圧測定を行う場合は、≡[5V]レンジをご利用ください。(実際に電池を使用する負荷状態で電圧測定ができます。)

- 9 -

- 1)測定対象
電池や直流回路の電流を測ります。
- 2)測定レンジ
0.25 m/25 m/500 mAまでの3レンジ
- 3)測定方法
①テストリードのプラグが本器にねじ止めされていることを確認します。(赤コードが上方のプラス端子側)
②レンジ切り換えつまみでDCmAの最適なレンジに合わせます。
③被測定回路のマイナス電位側に黒のテストピンを、プラス電位側に赤のテストピンを直列に接続します。
④mA目盛にて指針の指示を読み取ります。
⑤測定後は被測定回路から赤黒のテストピンをはずします。



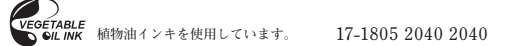
6-6 抵抗(Ω)測定

△ 警告

入力端子には外部よりの電圧を絶対に加えないこと。

- 1)測定対象
抵抗器や回路の抵抗の測定および回路の導通確認をします。

- 12 -



- メータ0位調整器
この調整器つまみを回し、メータ指針を0位置(目盛左端)に合わせます。
- 0 Ω調整器つまみ
抵抗測定のために使用します。
・テストピンをショートし、目盛の右端(Ω目盛の0位置)にこのつまみを回し指針を合わせます。

●テストリード抜け防止ねじの使用方法

△ 警告

測定の際に、テストリードのプラグ側は必ずテスタ本体にねじ止めた状態で使用すること。

- ①テストリードのプラグを赤コードが上方のプラス端子側になるよう差し込みます。
- ②ドライバーでねじ止めてプラグを固定します。

6. 測定方法

6-1 始業点検

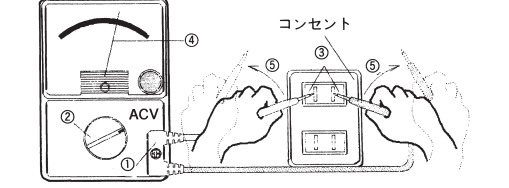
△ 警告

1. 本体またはテストリードが傷んでいたり、壊れている場合は使用しないこと。
2. テストリードまたはヒューズが切れていないことを確認すること。

- 6 -

6-4-2 交流電圧(ACV～) 最大レンジ AC 500 V

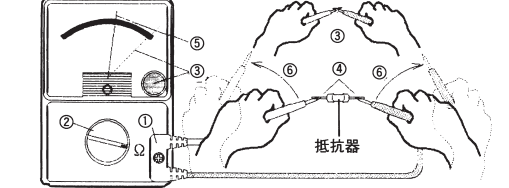
- 1)測定対象
電灯線電圧などの正弦波交流電圧を測ります。
- 2)測定レンジ
10/50/250/500 Vまでの4レンジ
- 3)測定方法
①テストリードのプラグが本器にねじ止めされていることを確認します。(赤コードが上方のプラス端子側)
②レンジ切り換えつまみでACVの最適なレンジに合わせます。
③被測定回路に赤黒のテストピンを負荷と並列にそれぞれ接触させます。
④ACV目盛にて指針の指示を読み取ります。
⑤測定後は被測定回路からテストピンをはずします。



※正弦波交流以外の測定では誤差を生じます。
※周波数が高くなると誤差が大きくなります。
10 Vレンジでは30 Hz～100 kHzの範囲で使用してください。(±3 % フルスケール)
50 Vレンジでは30 Hz～20 kHzの範囲で使用してください。(±3 % フルスケール)

- 10 -

- 2)測定レンジ
× 1 / × 10 / k Ωの3レンジ
- 3)測定方法
①テストリードのプラグが本器にねじ止めされていることを確認します。(赤コードが上方のプラス端子側)
②レンジ切り換えつまみでΩレンジの最適なレンジに合わせます。
③赤、黒のテストピンをショートして0 Ω調整つまみを回し、指針をΩ目盛の0位置に合わせます。
④被測定物に赤、黒のテストピンをそれぞれあてて測定します。
⑤Ω目盛にて指針の指示を読み取ります。
⑥測定後は被測定物からテストピンをはずします。



◎Ωレンジの極性

Ωレンジでは、赤のテストピンがマイナス電位に、黒のテストピンがプラス電位になっています。したがって、ダイオードの導通テストでは、赤のテストピンをカソード側に、黒のテストピンをアノード側にあててチェックします。

- 13 -

◎人体による影響

テストピンに指をあてて測定すると、人体の抵抗の影響を受け誤差を生じます。(特に、kΩ レンジ)

◎ヒューズの抵抗

定格[0.5 A/250 V]と異ったヒューズや消弧剤入りヒューズなどを使用されると、ヒューズ抵抗の影響で、× 1 レンジの 0 Ω調整ができなくなったり、測定精度が低下します。同仕様、同定格のヒューズをご使用ください。

※注意：× 1 レンジで、0 Ω調整ができない場合は、電池が消耗していますので新しい電池と交換してください。

6－7 電池負荷電圧(㏐㏑)測定 最大レンジ DC 1.5 V

- 1)測定対象
- マンガン電池やアルカリ電池の単 1 形～単 4 形の電圧消耗度をチェックします。
- 2)測定レンジ
- ㏐㏑の 1 レンジ
- 3)測定方法
- 直流電圧測定と同じ方法で行います。
- 4)指示の読み取り目盛
- ㏐㏑目盛

※負荷はRL＝10 Ωです。
※ボタン電池などの電流容量の小さいものはDC 2.5 V レンジで測定してください。

以上の注意項目を守り、環境の良い場所（[9－1 一般仕様]参照）に保管してください。

8. アフターサービスについて

8-1 保証期間について
本品の保証期間は、お買い上げの日より 3 年間です。ただし、日本国内で購入し日本国内でご使用いただく場合に限ります。
また、製品本体の許容差は 1 年保証、製品付属の電池、ヒューズ、テストリード等は保証対象外とさせていただきます。

8-2 修理について

- 1)修理依頼の前に次の項目をご確認ください。
- ・内蔵電池の容量はありますか？

・内蔵ヒューズは切れていませんか？

・テストリードは断線していませんか？
- 2)保証期間中の修理
- ・保証書の記載によって修理させていただきます。
- 3)保証期間経過後の修理
- ・修理によって本来の機能が維持できる場合、ご希望により有料で修理させていただきます。

・修理費用や輸送費用が製品価格より高くなる場合もありますので、事前にお問い合わせください。

・本品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造切後6年間です。この補修用性能部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。ただし購買部品の入手が製造会社の製造中止などにより不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もありますのでお含みおください。

[1] INTRODUCTION

You are kindly requested to read this Instruction Manual carefully before starting to use Multitester CP-7D so as to ensure its safety.
Keep this manual together with the meter not to lose it.

[2] APPLICATION AND FEATURE

Application:
This instrument is portable multitester designed for measurement of weak current circuits. The tester is suitable for measuring small type communication equipment, electrical home appliance, lighting voltage and batteries of various types
Feature:
This tester is only 23 mm thick even with the test lead attached. It is 119 mm high and 82 mm wide, so it fits well into a palm.

[3] SAFETY INFORMATION

Following description is intended to protect operators from such injury as burn and electric shock. Be sure always to observe it at the time of using this instrument.

⚠ DANGER

1. Do not use the tester for the measurement of electric circuits of a large capacity. The fuse contained in the tester is rated as 250 V (breaking capacity 500 A). Avoid measuring such circuits as there may be some problem that jeopardizes safety measurement due to a possible error in setting range.
2. Be sure to use a fuse of the specified rating and type (0.5 A/250 V, ϕ5 mm, 20 mm long). Never use a substitute or short the circuit.

4-10 Measuring Load Current (LI)

It is necessary to know load current (LI) well when measuring the resistance of thermistors or extremely fine wire coils because their resistance may vary when they are heated by measuring current. How to measure load current is to take readings of the pointer swing on LI scale in Ω range.
In Ω × 1 range, read out measured value on 0-7.4 in mA unit after multiplying it by 10. Accordingly, the measuring range is 0-74 mA.
In Ω × 10 range, read out measured value on 0-7.4 in mA unit directly. In kΩ range, read out measured value on 0-150 in μA unit directly.

4-11 Measuring Low Frequency Output (dB)

1. Measuring method is same as that in ACV.
2. The dB scale corresponds to AC 10 V scale and is graduated as 0 dB = 0.775 V. So the output of 600 Ω impedance circuit alone can be obtained as dB value, as 0 dB = 1 mW.

[5] WARRANTY AND PROVISION

Sanwa offers comprehensive warranty services to its end-users and to its product resellers. Under Sanwa's general warranty policy, each instrument is warranted to be free from defects in workmanship or material under normal use for the period of one (1) year from the date of purchase.
This warranty policy is valid within the country of purchase only, and applied only to the product purchased from Sanwa authorized agent or distributor. Sanwa reserves the right to inspect all warranty claims to determine the extent to which the warranty policy shall apply. This warranty shall not apply to fuses, batteries and test leads.

6－8 負荷電流(LI)測定 最大レンジ DC 74 mA

- 1)測定対象
- ダイオードやサーミスタなど、半導体の簡易的な静特性のチェックや抵抗測定時の測定電流を測ります。
- 2)測定レンジ
- × 1 / × 10 / kΩ の 3 レンジ(Ω レンジを使用)
- 3)測定方法
- 抵抗測定と同じ方法で行います。
※整流作用のある被測定物では極性に注意してください。
- 4)指示の読み取り目盛
- LI目盛

※指示の読み取り方
Ω × 1 レンジ：0～7.4目盛数字×10 （単位mA）
Ω × 10 レンジ：0～7.4目盛数字× 1 （単位mA）
kΩ レンジ：0～150目盛数字× 1 （単位μA）

7. 保守管理について

⚠ 警告

1. この項目は安全上重要です。本説明書をよく理解して管理を行ってください。
2. 安全と確度の維持のために 1 年に 1 回以上は校正、点検を実施してください。

7－1 保守点検

- 1)外 観
- ・落下などにより、外観が壊れていないか？

- 4)修理品の送り先
- ・製品の安全輸送のため、製品の5倍以上の容積の箱に入れ、十分なクッションを詰め、テストリードも一緒にお送りください。

・箱の表面に「修理品在中」と明記してください。

・輸送にかかる往復の送料は、お客様の負担とさせていただきます。
- [送り先] 三和電気計器株式会社・羽村工場サービス課
- 〒205-8604 東京都羽村市神明台 4－7－15
- TEL (042) 554－0113/FAX (042) 555－9046

- 5)補修用部品について
- 補修用ヒューズをお求めの場合は、上記サービス課あてにヒューズの形状と定格を明記し、ヒューズ代金と送料分の切手を同封してご注文ください。
(サイズ) (定 格) (単 価) (送 料)
ϕ5×20 mm 0.5 A/250 V ¥65(税込) ¥120(10 本まで)
部品番号 F0301 ガラス管ヒューズ / シャ断容量 300 A
金額は 2014 年 4 月現在のもので消費税を含みます。

8－3 お問い合わせ

三和電気計器株式会社
本社：TEL (03) 3253-4871 / FAX (03) 3251-7022
大阪営業所：TEL (06) 6631-7361 / FAX (06) 6644-3249
製品についての問い合わせ：☎ 0120-51-3930
受付時間 9:30～12:00 13:00～17:00
(土日祭日および弊社休日を除く)
ホームページ：http://www.sanwa-meter.co.jp

- 2)テストリードと内蔵ヒューズ
- ・入力端子にプラグを差し込んだときに緩みはないか？

・テストリードのコード部分が傷んでいないか？

・テストリードのどこかの箇所から芯線が露出していないか？
- 以上の項目に該当するものはそのまま使用せず、修理または新しいものと交換してください。
- ◎ヒューズおよびテストリードが切れたりしていないことを、「6－1 始業点検」を参照して確認してください。

7－2 校 正

校正、点検は製造元でも行えます。詳細は製造元にお問い合わせください。

7－3 内蔵電池および内蔵ヒューズ交換

⚠ 警告

1. 入力端子に入力加わった状態でリヤケースを外すと、感電のおそれがあるため、必ず入力加わっていないことを確認してから作業を行うこと。
2. 交換用ヒューズは同定格のものを使用すること。ヒューズの代用品を用いたり、短絡することは絶対にしないこと。

9. 仕 様

- 9-1 一般仕様
- AC 整流方式：半波整流方式
- メータ仕様：内磁型ビボット方式
- 許容差保証温湿度範囲：23±2℃ 75 %RH 以下
- 使用温湿度範囲：0～43℃ 80 %RH 以下
- 保存温湿度範囲：－10～50℃ 70 %RH 以下
- 耐 電 圧：AC 3 kV (1 分間)、入力端子～リヤケース
- 内蔵電池：R6P (単 3 形) × 1 1.5 V
- 内蔵ヒューズ：0.5 A/250 V シャ断容量 300 A
- 寸法・質量：119 (H) × 82 (W) × 23 (D) mm 140 g
- 付 属 品：テストリード 1 組 (TL-84)
- ※テストリードは本体にねじ止め済。

※出荷時の電池について
工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。モニター用電池とは製品の機能や性能をチェックするための電池のことです。

9-2 別売品

携帯ケース C-CP
クリップアダプター CL-14 (赤、黒セット)

- 9-3 測定範囲および許容差
- 許容差保証条件：23±2℃ 75 %RH
- 姿勢：水平 ±5℃ 結露のないこと

[4] HOW TO MEASURE

4-1 Meter 0 Correction

The meter 0 corrector is turned to the right and left and the meter pointer is adjusted to stay exactly on zero of the scale left.

4-2 Range Selection

The range being used is selected by turning the range selector knob in either direction. The range is classified into DC voltage (DCV), DC current (DCmA), AC voltage (ACV), resistance (Ω) and ㏐㏑ for checking the battery power.

4-3 Connections of Test Leads

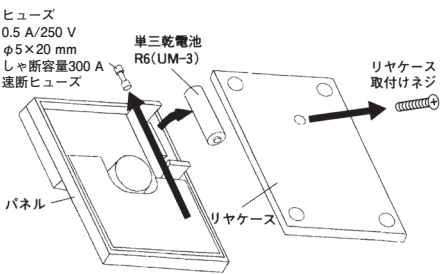
The test leads paired are inserted in the jacks with their polarity to agree with that of the jacks. Insert them well down in the jacks, and they would hardly come off. Make a point of using the test leads (TL-84) attached: none others available on the market would fit in.

4-4 Fuse Continuity Test

The fuse contained, if blown out, misjudges the presence of power on the meter: the operator can be in danger of getting an electric shock. A simple way of checking the fuse continuity is to short together the test leads on an ohm range and see if the pointer deflects. If it does, the fuse is OK. The fuse blown should be replaced with a 0.5 A miniature fuse.

4-5 Measuring DCV

1. Set the range selector knob to an appropriate DCV range.
2. Apply the black test lead to the minus potential of the measured circuit and the red one to the plus potential of the circuit.
3. Read out the swing of the pointer.



7－4 保管について

⚠ 注意

1. パネル、ケースなどは揮発性溶剤に弱いため、シンナーやアルコールなどで拭いたりしないでください。お手入れをする場合は、乾いた柔らかい布などで軽く拭き取ってください。
2. パネル、ケースなどは熱に弱いため、高熱を発するもの(はんだこてなど)の近くに置かないでください。
3. 振動の多い場所や落下のおそれがある場所には保管しないでください。
4. 直射日光下や高温または低温、多湿、結露のある場所での保管は避けてください。
5. 長期間使用されない場合、内蔵電池を必ず抜いておいてください。

9-3-1 測定範囲

ファンクション	測定レンジ(最大目盛値)
直 流 電 圧 DCV ≡	0.25/2.5/10/50/250/500 V
交 流 電 圧 ACV ~	10/50/250/500 V
直 流 電 流 DCmA ≡	0.25/25/500 mA
抵 抗 Ω	2 k(×1)/20 k(×10)/1 M(kΩ)
低 周 波 出 力 dB	－20～36 dB
負 荷 電 流 LI	0～74 mA/7.4 mA/150 μA
電池負荷電圧	0.9～1.5 V

9-3-2 許容差

ACV レンジは正弦波交流 (50/60 Hz) で規定

ファンクション	許 容 差	備 考
DCV	最大目盛値の ±3 % 以内	内部抵抗 4 kΩ/V
ACV	最大目盛値の ±4 % 以内	内部抵抗 4 kΩ/V 周波数範囲 30 Hz～100 kHz*
Ω	目盛長さの ±3 % 以内	最大目盛値 1 MΩ 開放電圧 1.5 V
DCmA	最大目盛値の ±3 % 以内	電圧降下 250 mV ヒューズ抵抗除く

*：AC 10 V レンジ ±3 % フルスケール

ここに掲載した製品の仕様や外観は改良などの理由により、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

4-6 Measuring ACV

1. Set the range selector knob to an appropriate ACV range.
2. Apply the test leads to the measured circuit.
3. Read out the swing of the pointer.

4-7 Measuring DCA

1. Set the range selector knob to an appropriate DCmA range.
2. Measure current by connecting the meter in series with the load. Apply the black test lead to the minus potential side of the measured circuit and the red one to the plus potential side.
3. Read out the swing of the pointer.

4-8 Measuring Ω

1. Set the range selector knob to an appropriate Ω range.
2. Short the red and black test leads and turn the 0 Ω adjuster knob until the pointer points to 0 Ω. Replace the built-in battery with a fresh one when the pointer fails to swing to 0 Ω even after having turned the 0 Ω adjuster knob clockwise fully.
3. Apply the test leads to the measured resistance.
4. Read out the swing of the pointer on the Ω scale.

Caution When the Ω range is used, polarity turns reverse to the indicated polarity of the measuring terminals. Take care when semiconductors are measured.

4-9 Measuring Battery Load Voltage (㏐㏑)

The tester can determine the exhaustion level of manganese batteries (SUM-1/R20,SUM-2/R14,SUM-3/R6P) and alkaline batteries (LR20,LR14,LR6) by measuring their voltage when the load is 10 Ω. (Use the DC 2.5 V range for measuring button batteries and other small current batteries.)
1. Set the range selector knob to ㏐㏑.
2. Apply the test leads to the measured battery.
3. Read out the scale 0.9-1.5 V directly in ㏐㏑.

sanwa.

保証書	
ご氏名	型 名 CP-7D
様	製造No.
ご住所	この製品は厳密なる品質管理を経てお届けするものです。 本保証書は所定項目をご記入の上保管していただき、アフターサービスの際ご提出ください。 ※本保証書は再発行はいたしませんので大切に保管してください。
TEL	三和電気計器株式会社
保証期間	本社・東京都千代田区外神田2-4-4 電波ビル
ご購入日	年 月 日より3年間 (製品の許容差については 1 年間)
	郵便番号 101-0021 電話・東京 (03) 3253-1871 (代)

保証規定

保証期間内に正常な使用状態のもとで、万一故障が発生した場合には無償で修理いたします。但し、保証期間内であっても下記の場合には保証の対象外とさせていただきます。

- 記
1. 取扱説明書に基づかない不適当な取扱い（保管状態を含む）または使用による故障
2. 弊社以外による不当な修理や改造に起因する故障
3. 天災などの不可抗力による故障や損傷、および盗難や損傷の原因が本計器以外の事由による場合
4. お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷
5. その他、弊社の責任ではないとみなされる故障
6. 本保証書は、日本国内において有効です。

This warranty is valid only within Japan. 以上	
年 月 日	修理内容をご記入ください。

※無償の認定は当社において行わせていただきます。

MEMO